

HPAI 発生リスク低減を目的としたため池の水鳥飛来防止対策

南丹家畜保健衛生所

○大隅恒佑 山本哲也¹⁾

5 【はじめに】昨シーズンは過去最大規模となる 18 県 52 事例(987 万羽)の養鶏場等で
HPAI が発生。疫学調査の結果から、農場近隣にはため池等（以下、池）が多く、飛来
する野鳥により環境中のウイルス量が高まっていたことが想定された。そこで HPAI 発
生リスク低減のため養鶏場周辺の池の水鳥飛来防止対策を実施した。【材料及び方法】航
空写真から養鶏場周辺にある池 18 か所を選定し、水鳥の飛来の有無を調査した。そのうち、
10 水鳥の飛来が確認された 13 か所の対策を実施。対策として、①市町を通じて池の管理者へ
水抜きを依頼（4 か所）②防鳥糸に 2m 間隔で反射テープを取り付け、一定の間隔を保ち木
製杭に括り付け、ドローン等を活用し池全体に糸を張りめぐらせた（9 か所）。防鳥糸を
設置した池は、振興局が実施する鳥類生息状況等調査により週 1 回程度飛来数を確認（8
15 か所）。設置は 5 月上旬までとし、それ以降は回収した。【結果と考察】飛来数を確認し
たすべての池で飛来数が減少。一方で設置から日数が経過すると設置前の数に戻る池がみ
られた（2 か所）が、池の大きさや立地条件、防鳥糸の設置間隔による傾向は認められな
かった。【まとめ】防鳥糸の設置は材料の入手や方法が簡便で、水鳥の忌避効果が大きい
ことが確認できた。今後は水鳥の飛来数、養鶏場との距離を考慮して池を選定し、防鳥糸
の設置間隔の見直し等により、より効果的な方法を検討し対策を継続。

20 1) 現：中丹家畜保健衛生所